

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立深井中央中学校
校長 泉谷 浩幸

中学校区におけるめざす子ども像

「自らを律し、自ら学び続ける子」

令和8年度 重点目標

- 「強みをいかし、ともに学び、ともに伸びる」学びの実現 ⇒ 生徒一人ひとりの強みに着目し、対話的・協働的な学びを通して、主体的に学び続ける力を育成する。 ●「主体的に考え行動する力」の育成 ⇒ 学校生活全体を通して、生徒が自ら考え判断し行動する場面を意図的に設定し、自治の力と自己決定力を高める。 ●「安心して学べる環境」と規範意識の自律化 ⇒ 「時を守り、場を清め、礼を正す」を基盤に、生徒同士の関わりと主体的な行動を通して、安心・安全で落ち着いた学校環境を確立する。
- 「挑戦し続ける姿勢」の育成 ⇒ 学習・行事・部活動等において挑戦の機会を保障し、失敗を成長につなげる風土を醸成する。 ●「組織としての教育力の向上(教師の在り方)」 ⇒ 教職員一人ひとりが高い専門性と使命感を持ち、協働的に実践を共有しながら、生徒に求める姿を体現する。特に、授業改革・授業力向上に本気で取り組み、「授業からも学校を変える！」という強い意志のもと、日々の授業実践を通して学校全体の教育力を高めていく。「子どもが憧れる 最高で最強の教師軍団！」をめざす。

「確かな学び」の現状

生徒との丁寧な関わりや継続的な指導により、学ぶ姿勢は着実に向上しつつあり、落ち着いて授業に臨む雰囲気が育ってきている。複数年にわたり取り組んできた静謐な教育環境の構築についても一定の成果が見られ、現在は「きれいな教室」の実現に向けた取組を進めている。ICT 環境の整備では、タブレット端末の更新により操作性が向上し、一部では学習意欲の高まりも見られるが、活用の広がりと質の向上が課題である。また、教職員の授業改善に対する意識は高く、相互参観等の取組も進めている段階にある。今後は、研修や実践交流を重ねながら授業力のさらなる向上を図り、主体的に学び続ける力の定着につなげていく必要がある。

「豊かな心・健やかな体」の現状

日常の教育活動を通じて、多様性を尊重し互いを認め合う人権意識の醸成に努めているが、いじめのない、いじめを許さない風土づくりも含め、さらなる意識の向上が課題である。今後は、「自分も人も大切にできる子」の育成に向け、一人ひとりが自他の価値に気づき、よりよい人間関係を築く力を高めしていく必要がある。また、活発な学校生活の中で見られる生徒のエネルギーを望ましい方向へ導くため、体育的活動の充実や運動習慣の定着を図るとともに、食育を大切にしながら道徳性を高め、将来、社会で主体的に活躍できる心と体の育成をめざす。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～9月末)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	探究的な学びの推進	「強みをいかし、ともに学び、自ら学び続ける子の育成	●一斉授業中心の学習から脱却し、ICT を効果的に活用することで、学習者一人一人に応じた個別最適な学びを実現するとともに、生徒が主体的に学ぶ力を育成する。●行事や集会など学校生活の様々な場面において、生徒に判断や運営を委ねる機会を意図的に増やし、自治の力と自己決定力の育成を図る。	・「授業においてタブレット等のICT機器を活用している」と肯定的に回答する割合が60%を超える。・「学校生活の中で自分で考えて行動している」「行事や活動に主体的に参加している」と肯定的に回答する割合が75%を超える。	教室・職員室での見取り 全国学力・学習調査 堺市学力・学習状況調査	3学期 通年			
	授業改革の推進授業からも学校を変える	生徒一人ひとりの強みをいかし、「ともに学び、ともに伸びる」授業の実現をめざす。主体的に問い、対話を通して深く学び続ける力を育成する。そのために、教職員一丸となって授業改革に取り組み、「授業からも学校を変える！」という意志のもと授業改善を推進する。	●教職員一人一人の授業改善に対する意識を高めるため、毎月の教科会において複数人による協働的な授業づくりを継続的に行う。●授業の相互参観や校内研究授業を計画的・定期的実施し、授業力向上の機会を充実させる。生徒の学びの姿をもとに授業を振り返ることで、教師自身が成長を実感できるとともに、生徒も「学んでいる自分」を自覚できる授業づくりを推進する。★小中におけるカリキュラムに、教職員で話し合う場を作り、つなかりを意識した授業づくりを推進する。	全教職員が年間複数回の相互参観を行っている。校内研究授業や教科会での協働的な授業づくりが継続的に実施されている。生徒が主体的に考え、対話を通して学びを深める授業が展開されている。全国学力・学習調査等において、「主体的・対話的に学んでいる」と肯定的に回答する割合が70%を超える	教室・職員室での見取り 全国学力・学習調査 堺市学力・学習状況調査	3学期 通年			
豊かな心・健やかな体	自他を大切に育む心の育成	自分を大切にし、自分の良さをいかして前向きに行動できる生徒の育成	● 日々の関わりや声かけ、振り返り活動を通して、生徒一人ひとりの良さや強みに気づかせ、自信をもって前向きに行動できるよう支援する。★ 小中連携による交流活動や合同取組を通して、互いの良さを認め合う機会を設け、自己肯定感や他者理解を育む。	「自分には良いところがある」「自分の得意なことが分かっている」「学校が楽しい」と肯定的に回答する割合が75%を超える。	IRT 調査 学校教育自己診断等 見取り	3学期 通年			
	生活食文化の向上	他者を尊重し、思いやりをもってよりよい人間関係を築くことができる生徒の育成	● 道徳教育や人権教育を基盤に、日常の指導や学級活動を通して他者を尊重する態度を育てるとともに、いじめを許さない意識と行動を全校で徹底する。★ 小中連携による人権学習や交流活動を通して、互いを認め合う心を育てるとともに、発達段階に応じた人権意識の育成を系統的に推進する。	「友達を傷つけないようにする」「道徳の授業は大切だとおもう」と肯定的に回答する割合が75%を超える。	学校教育自己診断 IRT 調査等	3学期			
	生活食文化の向上	基本的な生活習慣の定着と食育の推進を図るとともに、健やかな心身の育成と安心して学べる学校環境の実現をめざす	● 日々の生活の中で、「時を守り、場を清め、礼を正す」を全校共通の生活規範として定着させるとともに、食育の推進や運動習慣の定着を図り、健やかな心身の育成につなげる。★ 小中が連携し、基本的な生活習慣や食に関する指針について情報共有と共通理解を図り、発達段階に応じた系統的な指導を推進する。	「時間を守り行動できている」「そうじをしっかりできている」「基本的な生活習慣やマナーが身につけている」と肯定的に回答する割合が75%を超える。	全国学力・学習調査 学校教育自己診断等	3学期			
地域協働	信頼と連携	地域や学校群と連携し、教育活動の充実を図り、保護者・地域から信頼される学校づくりをめざす	● 学校だよりやホームページ、Tetoru 等を活用し、教育活動の様子や成果を積極的に発信することで、保護者・地域との信頼関係の構築を図る。★ PTA や地域と連携した行事や活動に積極的に参加するとともに、小中学校間での交流や情報共有を推進し、学校群としての連携を深める。	学校だよりやHP、Tetoru 等による情報発信と、PTA・地域・小中連携の取組が継続的に実施されている。	学校アンケート 実施状況	3学期			

校長より (年度末)

学校関係者評価者から (年度末)